



株式会社 UKCホールディングス 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社UKCホールディングス  
 コード番号 3156 URL http://www.ukcgroup.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福寿 幸男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部門、財務部、  
 総務人事部門担当 (氏名) 田口 雅章 TEL 03 (3491) 6575  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	73,529	10.9	1,815	△1.3	1,817	28.3	1,254	43.1
25年3月期第1四半期	66,322	△8.8	1,839	83.5	1,416	54.5	876	42.3

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,748百万円 (211.7%) 25年3月期第1四半期 560百万円 (57.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	79.88	—
25年3月期第1四半期	55.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	117,079	46,512	39.5	2,942.90
25年3月期	114,223	45,402	39.4	2,869.23

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 46,198百万円 25年3月期 45,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	160,000	10.5	3,900	△10.8	3,900	3.5	2,600	31.4	165.62
通期	290,000	1.9	7,400	0.5	7,000	△14.2	4,500	△10.5	286.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日（平成25年8月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	15,700,021株	25年3月期	15,700,021株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,636株	25年3月期	1,387株
----------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	15,698,504株	25年3月期1Q	15,699,413株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けた各種政策の効果等により、企業活動や個人消費に改善が見られました。その一方で、欧州の債務問題や中国をはじめとした新興国の経済成長の鈍化傾向等が、引き続き景気の下振れリスクとなっております。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、薄型テレビ、コンパクトデジタルスチルカメラ、パソコン等の従来型のデジタル家電製品の市場は停滞傾向にある一方、スマートフォン、タブレット端末等のモバイル関連機器の市場は拡大を続けるなど、二極化傾向が見られます。

このような状況の下、当社グループにおきましては、中核事業であるソニー製の半導体・電子部品事業をさらに強化するとともに、EMS（電子機器受託製造サービス）等の高付加価値事業の拡大や新規事業の創出に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 735 億 29 百万円（前年同期比 10.9%増）、営業利益は 18 億 15 百万円（前年同期比 1.3%減）、経常利益は 18 億 17 百万円（前年同期比 28.3%増）、四半期純利益は 12 億 54 百万円（前年同期比 43.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の報告セグメントに組み替えた数値で比較しております。

#### ・半導体及び電子部品事業

半導体及び電子部品事業におきましては、特に海外のスマートフォン向け製品の販売が好調で増収となりましたが、相対的に粗利率の高い国内事業の売上高が減少したため、セグメント利益は微減となりました。

以上の結果、売上高は 702 億 52 百万円（前年同期比10.4%増）、セグメント利益は 20 億 27 百万円（前年同期比 1.1%減）となりました。

#### ・電子機器事業

電子機器事業におきましては、景気刺激策の効果等により、顧客の設備投資に改善が見られ、一般企業向け、医療向けの売上が伸びました。

以上の結果、売上高は 30 億 70 百万円（前年同期比 22.6%増）、セグメント損失は 1 億 64 百万円（前年同期比 58 百万円の改善）となりました。

#### ・システム機器事業

非接触ICカード関連事業におきましては、デジタルサイネージや電子マネー関連ビジネスの活性化に伴い、売上は伸ばしたものの、利益は伸び悩みました。半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、試験数の減少に伴い、業績は低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は 4 億 71 百万円（前年同期比 6.9%増）、セグメント利益は 25 百万円（前年同期比 55.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して 28 億 55 百万円増加し、1,170 億 79 百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加 31 億 95 百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末と比較して 17 億 45 百万円増加し、705 億 66 百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加 61 億 62 百万円、短期借入金の減少 33 億 31 百万円、未払法人税等の減少 16 億 33 百万円によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して 11 億 10 百万円増加し、465 億 12 百万円となりました。これは主に四半期純利益 12 億 54 百万円、利益剰余金からの配当 6 億 27 百万円、為替換算調整勘定の増加 5 億 29 百万円を主因としたその他の包括利益累計額の変動額 5 億 30 百万円、少数株主持分の減少 45 百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、当初の予想を若干上回る進捗率で堅調に推移いたしました。また、第2四半期には、部品事業やEMS事業において海外での増収が見込めるため、平成26年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては、不確定な要素が多いことから、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました予想値を据え置いております。今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,601	15,797
受取手形及び売掛金	65,119	65,720
商品及び製品	23,304	23,565
仕掛品	297	793
原材料及び貯蔵品	489	671
その他	6,680	4,633
貸倒引当金	△144	△83
流動資産合計	108,349	111,098
固定資産		
有形固定資産	2,076	2,127
無形固定資産	461	499
投資その他の資産		
投資有価証券	2,427	2,465
その他	984	964
貸倒引当金	△76	△75
投資その他の資産合計	3,336	3,354
固定資産合計	5,874	5,981
資産合計	114,223	117,079
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,371	41,534
短期借入金	20,937	17,606
1年内返済予定の長期借入金	4,295	4,958
未払法人税等	2,056	423
賞与引当金	420	219
その他	1,932	2,775
流動負債合計	65,014	67,517
固定負債		
長期借入金	2,610	1,896
退職給付引当金	627	626
役員退職慰労引当金	37	38
その他	531	488
固定負債合計	3,806	3,049
負債合計	68,821	70,566

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,383	4,383
資本剰余金	6,342	6,342
利益剰余金	34,361	34,987
自己株式	△1	△2
株主資本合計	45,085	45,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	363	364
為替換算調整勘定	△406	123
その他の包括利益累計額合計	△42	487
少数株主持分	359	313
純資産合計	45,402	46,512
負債純資産合計	114,223	117,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	66,322	73,529
売上原価	61,784	69,028
売上総利益	4,537	4,500
販売費及び一般管理費	2,698	2,685
営業利益	1,839	1,815
営業外収益		
受取利息	5	11
受取配当金	19	24
仕入割引	1	1
為替差益	—	46
その他	72	21
営業外収益合計	100	106
営業外費用		
支払利息	69	68
売上債権売却損	7	2
為替差損	435	—
その他	10	31
営業外費用合計	523	103
経常利益	1,416	1,817
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産処分損	1	0
その他	2	3
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純利益	1,414	1,813
法人税等	580	595
少数株主損益調整前四半期純利益	834	1,218
少数株主損失(△)	△42	△35
四半期純利益	876	1,254

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	834	1,218
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△60	0
為替換算調整勘定	△212	529
その他の包括利益合計	△273	530
四半期包括利益	560	1,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	606	1,785
少数株主に係る四半期包括利益	△45	△35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体及び電 子部品	電子機器	システム機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	63,640	2,240	441	66,322	—	66,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	264	—	274	△274	—
計	63,650	2,505	441	66,596	△274	66,322
セグメント利益又は損 失(△)	2,049	△223	57	1,883	△43	1,839

(注) 1. セグメント利益の調整額△43百万円には、セグメント間消去取引△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△36百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体及び電 子部品	電子機器	システム機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,251	2,805	471	73,529	—	73,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	264	—	266	△266	—
計	70,252	3,070	471	73,795	△266	73,529
セグメント利益又は損 失(△)	2,027	△164	25	1,888	△73	1,815

(注) 1. セグメント利益の調整額△73百万円には、セグメント間消去取引11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△84百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループにおける販売体制の再編等により、「電子機器」として取り扱っていた一部の商品を「半導体及び電子部品」に移管しております。また、前連結会計年度まで、報告セグメントに直接帰属しない一般管理費を、配賦不能費用として全社費用に含めておりましたが、セグメント別の損益をより明確に表示するために、当第1四半期連結会計期間より、各セグメントへ配賦することに変更しております。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメント区分及び配賦基準に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。